

メーデー事前学習会

4月10日、エルおおさかにて総勢55名で開催されたメーデー実行委員会主催の事前学習会に参加しました。講師に元全港湾委員長馬場徳夫さんを招き、メーデーの歴史と現代の労働運動の課題について、熱のこもった講義をしていただきました。

メーデーは、1886年のアメリカ・シカゴで、12～14時間にも及ぶ過酷な長時間労働に抗議した35万人の労働者たちのストライキに端を発し、ハイマーケット事件での犠牲を乗り越え、1889年の第2インターナショナルで「労働者の国際連帯の日」と位置づけられた歴史は、まさに血と汗と涙の上に築かれた「闘争の記憶」そのものです。

日本でも1920年に始まり、戦後の「食糧メーデー」、1952年の「血のメーデー」や吹田事件な

ど、激しい弾圧の中で労働者の権利が守られてきたことを学び、改めて先人たちの苦勞に頭が下がる思いでした。



しかし、1989年の総評解散・連合結成以降、労働運動は大きく右翼的に再編され、「闘い」やストライキが遠ざけられてしまったという指摘、我々世代が反省すべき点と述べられました。

それでも大阪では、おおさかユニオンネットワークや、中之島メーデー（1997年～）が、地域連帯・

反戦・国際連帯を掲げて粘り強く活動を続けていること、大阪労働者弁護団が総評時代の精神を引き継いで労働者支援に取り組んでいることを紹介され、心強く感じました。

現在、厚労省の「働き方の未来2035」では、解雇自由化や労働の流動化が推し進められ、企業内部留保が637兆円に達する一方で、労働者の貧困化が進む異常な事態が続いています。維新政治による労働基本権の剥奪や、戦争体制化の動きにも強く対峙しなければなりません。

馬場さんの講義を通じて強く思ったのは、メーデーは単なる「お祭り」ではなく、未組織の労働者も含めたすべての労働者が決起する場だということです。地区メーデーのさらなる拡大と、労働者同士の団結を強化することこそが、今の困難な時代を切り拓く鍵だと実感しました。

（副委員長 吉本賢一）

自然エネルギー省庁と一緒に対応するチームを作らせた。結果、困っているところに燃料を配分してもらえることになった」など現場主義の立場で活動報告をされた。

上野常務理事からは適正原価の受注者と発注者の義務について詳しく講演された。質疑では、燃料の安定供給を望む声が多かった。広瀬副代表から閉会あいさつで高市首相の発言に不信感があり与党の傍若無人な施策を追求するためにも国土交通省への要請行動を8月の総会までに取組み、トラック産業の発展と賃金の底上げを目指すことを訴えた。

（懇話会事務局長 陣内恒治）

適正化と安定供給が課題

4月11日、トラック産業の将来を考える懇話会・近畿は、2026セミナーとして道頓堀ホテルにて開催した。

講師に国土交通委員長の辻元清美議員（立憲民主党）と上野耕一郎（大阪府トラック協会常務理事）をお呼びして71名参加で進行された。

内容として辻元議員から、「トラック適正化二法に基づく運用に向け、運輸事業の振興助成に関する予算とそのあり方を含め、各党の議員連盟の人たちと協議しながら十分に検討していく。また、中

東情勢を受け、燃料価格の更なる高騰でトラックバスタクシーなど社会基盤を支える事業や国民生活に多大な影響があり、九州のバス

村米を考へる愁



社で燃料が不足していると聞いたので国交省に伝え、どこの自治体でも、しっかり対応するように

だんけつ



発行
大阪市港区築港1-12-27
全日本港湾労働組合関西地方大阪支部
発行責任者 陣内恒治



5月1日、中之島公園剣先広場にて第97回中之島メーデーが開催されました。

前日から降り続いた雨も準備段階では上がり清々しい気候の中「生きるために、今、私たちは立ち上がる。」をメインテーマとして支部141名を含め、450名が参加されました。

集会は、今年の主催団体である関生支部細野書記長の挨拶で始まり、2021年以降、続いている物価高騰に私たち労働者は苦しめられてきました。その対策も出来ていない最中に、アメリカとイスラエルによるイランに対する一方的な軍事攻撃が開始され更なる原油不安が増し、労働者・市民の生活に多大な影響を与えてい



岸和田地区労働者

ます。

一方、日本国内では先の衆議院選挙にて護憲政党が軒並み惨敗し、高い支持率を得た高市首相が「改憲」と声高々に発し、再び戦争への道へと突き進んでいます。また、スパイ防止法制定・諜報機関の創設に向けた議論が進められています。このような状況を私たちは真剣に考え行動しなければなりません。

「平和なくして労働運動なし」平和の上に私たちの安心した暮らしが構築されている。全港湾の労働運動の原点を今一度、考えさせられるメーデーでありました。集会終了後は、西梅田公園までデモ行進を行い、沿道の市民にアピールをしました。

最後に、同日9時30分より岸



和田城千亀利公園にて「岸和田地区労働者メーデー」に、総勢24名の参加、18時30分より出屋敷駅北緑地公園にて、「MAYDAYあまがさき2026」に、総勢9名が参加されました。

（執行委員長 小林勝彦）



MAYDAYあまがさき